多治見ロータリークラブ委嘱作品 初演演奏会

TAJIMI CHOIR JAPAN
第49回定期演奏会

多治見ロータリークラブ委嘱

「土と炎」

その他 となりのトトロ、世界の名曲など

作詞　伊藤 芳博（多治見市在住）
作曲　松宮 圭太
指揮　柘植 洋子
合唱　TAJIMI CHOIR JAPAN
多治見少年少女合唱団と
シニアコア

日時　2023年1月29日 日
17:30開場　18:00開演

場所　バロー文化ホール　大ホール

■チケット

一般　2,000円
学生　1,000円
ペア　3,000円

※未就園児のご入場はご遠慮ください。

■取り扱い

バロー文化ホール
ヤマカまなびパーク
笠原中央公民館アザレアホール

11月3日 木 祝 販売開始

主催　TAJIMI CHOIR JAPAN　TAJIMI CHOIR JAPAN 育成会
共催　多治見ロータリークラブ　バロー文化ホール　多治見少年少女合唱団友の会
後援　多治見市　東美濃商工会議所連絡協議会　多治見青年会議所
多治見 西ロータリクラブ　多治見リバーサイドロータリークラブ　多治見ライオンズクラブ　多治見陶都ライオンズクラブ
中日新聞社　朝日新聞社　岐阜新聞社、岐阜放送　読売新聞中部支社　毎日新聞社　東濃新報社

事業趣旨

やきものの産業と文化が息づく多治見は、陶土に恵まれ、様々な美濃焼が生産され、作家や窯元、商社や関連企業が集う世界有数のやきもの産業の一大生産地です。地元の産業・文化である焼き物をテーマにした合唱曲を新たに委嘱しご披露することにより、歌を通して地元愛、思いやり、明日への希望、焼き物文化への理解を促し、広く地域の青少年育成を進めます。このような多治見ロータリークラブの要望を実現するため、メンバーと作家の皆さん、そして楽曲の発表や文化啓発のためにTAJIMI CHOIR JAPAN　多治見少年少女合唱団とシニアコアさんにもご協力いただき、作曲作詞の段階から深くかかわっていただきます。また市内児童生徒らが持つこの町のイメージの聞き取りを行い、多治見の歌として市民参加型での作成を目指します。さらに楽曲の一部を合唱曲として汎用性の高いものにするとともに、指導手段や活用方法を模索するための会議体を立ち上げることで、市内児童生徒の皆さんにも歌っていただく機会を創出し、歌い継がれる多治見の歌を完成させます。

TAJIMI CHOIR JAPAN
多治見少年少女合唱団とシニアコア

団員は、５歳から小中高大生を中心に社会人まで約70名で童声合唱、同声合唱、女声合唱、男声合唱、混声合唱等 作品に相応しい様々な形態で、演奏に取り組んでいる。多治見市の他、可児市、恵那市、中津川市、岐阜市等、県内各地から参加。サテライトメンバーには、名古屋、山梨、東京から参加している者もいる。

海外公演は、シンガポール、アメリカ、オーストラリア、韓国、台湾、スペイン等がある。
IFCM世界合唱シンポジウムには1996年 オーストラリア シドニー、2005年 日本 京都、2017年 スペイン バルセロナの３回参加している。

優れた演奏家と共演する機会に恵まれ、小林研一郎や飯森範親他指揮の名古屋フィルハーモニー、アンサンブル金沢、世界的に有名な笙奏者の宮田まゆみ、箏奏者の福永千恵子、パーカッショニストの藤井むつ子、ハープシコード奏者で指揮者でもある小林道夫、ピアニストの北住淳、小坂圭太、中川俊郎、新垣隆、浅井道子、中島香、古田友哉 等との共演がある。

１０を超えるCDとDVDのレコーディングがある。

柘植 洋子 YOKO TSUGE
常任指揮者

日本の合唱指揮者の重鎮であり東京混声合唱団桂冠指揮者である田中信昭から指揮法を学んだ。教師として多治見市に赴任して以来、熱心に合唱活動に取り組み、日墺協会主催全国グロスマン合唱音楽コンクールにおいて金賞を獲得するなど、合唱指揮者として活躍した。1982年多治見少年少女合唱団に指揮者として招かれ、1985年に田中信昭と出会うことにより、日本の合唱界の最先端の合唱活動へと導かれるに至った。以来、田中信昭と共に、委嘱初演活動に精力的に取り組んだ。
2015年、地域の音楽文化の振興を願い、東海地域の演奏家と共に「アンサンブル・セラ」オーケストラを設立。TAJIMI CHOIR JAPANを核に、多くの人々がオーケストラと一緒に演奏する機会を提供している。
2020年、柿沼唯作曲、佐藤信詞「能とパイプオルガンと合唱のためのオペラ　天鼓」委嘱。日本の伝統文化『能』と、西洋で楽器の王様と呼ばれる『パイプオルガン』を、子ども達の歌が結ぶ素晴らしい作品となった。